

学習プロジェクトのテーマ名
「秋」の語彙リストを作ろう！
プロジェクト全体の目標
【レベル 1】 グループのメンバーと協働して語彙リストを作成・発表することを通し、語彙学習への意欲を高めるとともに、今後の主体的な学習につなげるきっかけとする。
コミュニケーション能力指標
※授業内容に合わせて話題分野の項目を書き換え、次のような指標を作成しました。 ・「秋」から連想するもの（食べ物、自然、行事など）を口頭でまたは書いて、クラスメートに伝えることができる。 ・グループ内で拳がった単語を一定の基準でカテゴリーに分け、見やすい語彙リストにまとめることができる。 ・他のグループの語彙リストの単語を、聞いたり読んだりして理解することができる。
学習シナリオ
<場面状況> S 大学のコリア語検定試験対策講座（初級クラス）では、語彙力の向上に焦点をあてた計 10 回の授業が予定されている。秋学期の第 1～3 回の授業では、ウォーミングアップとして、グループごとに「秋」から連想する単語をまとめたオリジナルの語彙リストを作り、クラスで発表・共有することになった。
<活動の流れ>
第 1 回目
1) 各自「秋」から連想するもの（名詞）をメモし（日本語可）、そのうちの一つを韓国語でポストイットに書く。（韓国語の単語がわからない場合は辞書などで調べるか、周りの助けを借りる。） 2) グループを作って簡単な自己紹介をし、自分がポストイットに書いた単語を紹介する。 （自己紹介は日本語可） 3) 全員のポストイットを画用紙に貼り、連想したものの類似、相違を確認する。 4) スマートフォンの辞書アプリなどを活用して、秋から連想する単語を最低 15 語以上、ポストイットに書いて貼っていく。（例：柿、栗、りんご、ぶどう、さんま、読書、スポーツ、食欲、運動会、コスモス、紅葉、… などを韓国語で書く。相談は日本語可） 5) 自分のためのチェックリスト①に、自分が「知っている単語」と「知らない単語」をそれぞれ書き込む。 6) グループで画用紙に貼り出した単語のカテゴリー分けを試みる。（例：果物、植物、行事、…） この際、カテゴリー名は韓国語でつける。また、見やすいようにカテゴリーの配置などを工夫し、発表用の語彙リストとしてまとめる。

- 7) グループでの語彙リスト作成を終えた段階での感想（良かった点、面白かった点、難しかった点など）を振り返りシートに記入する。（日本語可）
- 8) 次回のポスター発表に備え、全員が口頭で発表できるように、グループ内で単語の意味や発音を確認し、練習する。

第2回目

- 1) 全員が必ず一回発表を担当できるように、ポスター発表を行う。発表者は語彙リストの前に立ち、自分のグループの語彙リストについて発表し、質問に答える。（発表の際に日本語を使用しても構わないが、単語とカテゴリー名は必ず韓国語で発音する。）
- 2) 発表を聞く側は、自分のためのチェックリスト②に、自分のグループで「拳がった単語」と「拳がらなかった単語」を書き込む。また、語彙リストと発表についてループリックで評価する。
- 3) 発表が終わったら、振り返りと自己評価を行う。

第3回目

- 1) 各グループの語彙リストに共通して拳がった単語を基に、確認テストを行う。
- 2) 各グループへのフィードバック、振り返りの共有を行う。

総括的評価

グループのメンバーと協働して「秋」の語彙リストを作り、ポスター発表を行う。

（提出物：グループで作った「秋」の語彙リスト、各グループの発表についての評価表、自己評価表）

学習項目と 3×3+3 との対応

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> 語彙に体系（上位語、下位語、類義関係、反義関係など）があることがわかる。 語彙リストに載せる単語を正確に読んだり書いたりすることができる。 他のグループの語彙リストの単語を読んだり聞いたりして理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「秋」に関わるものを連想することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンの辞書アプリやオンライン辞書などの使い方がわかる。
できる	<ul style="list-style-type: none"> 単語同士の意味関係を基準にカテゴリー分けをし、適当なカテゴリー名を考えることができる。 自分と他のグループのカテゴリー分けの類似点と相違点をまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が連想する「秋」とクラスメートが連想する「秋」の類似点と相違点をまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 辞書アプリやオンライン辞書などで、自分が知りたい単語を調べることができる。 グループのメンバーと協働して語彙リストを完成させることができる。
つながる	<ul style="list-style-type: none"> グループのメンバー同士で単語の意味や発音を教え合うことができる。 学科や学年の違いを超えて、韓国語を学習する仲間とのつながりを作ることができる。 		
三連携	<ul style="list-style-type: none"> ①学習者の関心、意欲、態度、学習スタイル：時期に合う身近なテーマ（「秋」）で語彙を習得する。 ②他教科との連携：情報科（ICT のスキル） ③教室外の人、モノ、情報の連携：スマートフォンの辞書アプリやオンライン辞書などを活用する。 		

★総括的評価のポイント：

1. クラスメートによる評価

- 1) ハングル表記：正確に書かれているか、見やすく書かれているか。
- 2) カテゴリー分け：わかりやすく、妥当であるか。また、グループの個性や工夫が感じられるか。
- 3) 発表での声、発音：明瞭か、聞き取りやすいか。練習したことが感じられるか。

2. 自己評価

- 1) チームワーク：自分と相手の意見を上手く調整して語彙リスト作成ができたか。
- 2) 発表：練習を十分に行い、その成果が発揮できたか。

★総括的評価のための活動の指示文：

1. 語彙リスト作成

- 1) グループのメンバーと協力して、「秋」から連想した単語（名詞）を最低15語以上書いてください。ハングルは見やすく、正確に表記してください。
- 2) 単語同士の意味関係などを考慮し、わかりやすいカテゴリー分けをしてください。分け方に正解はありませんので、グループのメンバーと意見を出し合い、うまく調整しながらカテゴリーを決めてください。配置もわかりやすいように工夫をこらし、発表用のポスターにまとめてください。

2. ポスター発表（第2回目の授業で、ポスター発表を行います。）

- 1) 全員が必ず一度発表をするので、最低限、語彙リストに挙がった単語をはっきりと正確に読めるように、メンバーと協力して練習してください。また、家でも各自練習をして、発表に備えてください。
- 2) 発表者は語彙リストの前に立ち、他のグループのメンバーに対して、単語とカテゴリーについて口頭で発表してください。発表時間は、一回につき5分以内です。発表をする際に日本語を使用しても構いませんが、語彙リストの単語とカテゴリー名は必ず韓国語で発表してください。
- 3) 発表を聞く側は、各グループの語彙リストと発表に対する評価を行い、よかった点などについてコメントを書いてください。

3. 自己評価

最後に活動を振り返って自己評価をし、自分の語彙学習についての課題を挙げてください。

★学習者の個人的特性への対応

受講生の実力（学習歴）に差があることがわかっていたため、グループでの活動を中心に据え、メンバー同士の協働が自然と行われるような作業と評価を計画した。また、各自が自分の現在の実力を把握し、今後の学習に活かせるように、自分のためのチェックリスト①、②に単語を書き込む作業を加えた。

ルーブリック①：各グループの「秋」の語彙リストと発表に対する評価

評価基準	目標以上を達成 (5点)	目標を達成 (4点)	目標達成まであと一息 (3点)	目標達成のためにさら なる努力を(2点)
表記	すべて正確かつ見やすく表記されている。	すべて正確に表記されている。	表記にいくつか間違いがある。	表記の間違いが多い。
カテゴリー (×2)	カテゴリー分けがわかりやすく妥当である。さらに、グループの個性や工夫が感じられる。	カテゴリー分けがわかりやすく妥当である。	カテゴリー分けにわかりにくい部分や妥当でない部分がある。	カテゴリー分けがわかりにくく、再検討が必要。
発表 声・発音	明瞭な発音で、聞き取りやすい。十分に練習したことがわかる。	明瞭な発音で、言うことがすべてわかる。	明瞭さに少し欠け、ところどころ聞き取れない。	明瞭さに欠け、内容がほとんど聞き取れない。
コメント：				

ルーブリック②：「秋」の語彙リスト作成と発表に対する自己評価

評価基準	目標以上を達成 (5点)	目標を達成 (4点)	目標達成まであと一息 (3点)	目標達成のためにさら なる努力を(2点)
チーム ワーク (×2)	自分の意見を言い、相手の意見を聞いて、皆うまく調整しながら語彙リストを作ることができた。また、単語の意味や発音も積極的に教え合うことができた。	自分の意見を言い、相手の意見を聞いた上で語彙リストを作ることができた。また、単語の意味や発音も教え合うことができた。	語彙リストを作る際に、自分の意見が言えない(相手の意見が聞けない)部分があった。単語の意味や発音でわからないままの部分がある。	ほとんど意見交換をすることができなかった。単語の意味や発音がわからないまま終わってしまった。
発表での 声・発音	発表のための練習を十分に行い、はっきりと正確に発音できた。することができた。また、相手の反応を見ながら声の大きさやスピードの調節もすることができた。	発表のための練習を十分に行い、はっきりと正確に発音できた。	発表のための練習を行ったが、詰まってしまう部分があった。	発表のための練習が足りず、発音できない単語があった。
自分の 語彙学習に おける課題				

目標分解表 テーマ：「秋」の語彙リストを作ろう！

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
「秋」から連想するもの(名詞)を書き出し(日本語可)、その中から一つを選んで韓国語でポストイットに書く。	「秋」に関連する単語を正確に書ことができる。	グループのメンバーと協働して「秋」の語彙リストを作成することができる。	グループのメンバーと協働して語彙リストを作成・発表することを通し、語彙学習への意欲を高め、今後の主体的な学習につなげるきっかけとする。
近くの3～5人でグループを作って簡単な自己紹介(日本語可)をし、自分が書いた単語を紹介する。			
画用紙に各自のポストイットを貼り、どのような単語が挙がったか確認する。			
グループのメンバーと辞書アプリなどを活用して「秋」から連想する名詞をさらに挙げ、ポストイットに書いて貼っていく。(最低 15 語)			
単語の意味関係(上位語、下位語)とカテゴリー分けを理解する。	単語同士の意味関係を考慮して、カテゴリーに分けることができる。		
どのようなカテゴリーにまとめられるかを相談する。			
ポストイットをカテゴリーごとにまとめ、語彙リストを完成させる。	「秋」の語彙リストを作成した過程を振り返ることができる。		
グループで「秋」の語彙リストを作ってみて気づいたことを書く。			
【形成的評価】 自分のグループの「秋」の語彙リストの中で、自分が知っている単語と知らない単語に分けて書き出し、提出する。 (自分のためのチェックリスト①) →綴りなどの間違いがないかチェックをして返却			
メンバー同士で教え合い、単語とカテゴリー名が正確に言えるように練習する。	グループのメンバーと協力し、発表の準備をする。	グループのメンバーと協働して「秋」の語彙リストを発表し、クラスで共有することができる。	
メンバーが交代でポスターの前に立ち、カテゴリーと単語を発表する。	メンバーと交替で発表する(他のグループの発表を聞いて評価する)。		
各グループの発表について評価とコメントを書く。			
【形成的評価】 他のグループの「秋」の語彙リストの中で、自分のグループのリストにある単語とない単語を書いて提出する。 (自分のためのチェックリスト②) →綴りなどの間違いがないかチェックをして返却			
自分のグループと他のグループの「秋」の語彙リストの単語やカテゴリー分けを比較し、気づいたことを書く。	自分のグループと他のグループの語彙リストとの作成・発表を比較、気づいたことをまとめることができる。	活動を振り返り、自分の語彙学習における課題を考えることができる。	
「秋」の語彙リスト作成と発表を振り返って自己評価をし、感想を書く。			
自分の語彙学習における課題を考える。	自分の語彙学習における課題を考えることができる。		
【総括的評価】 発表に使用した「秋」の語彙リストと、各グループへの評価、自己評価のルーブリックを提出する。			